



CMA だより

第89号（2018年5月号）

発行：一般社団法人 千葉県マンション管理士会（Chiba Mankan Association）

会長 赤祖父 克介

編集：広報部会

事務局：〒260-0022 千葉市中央区神明町13-2-104

電話：043-244-9091 FAX：043-244-9094

E-mail：info@chiba-mankan.jp

URL：<http://www.chiba-mankan.jp/>

☆目次

◇近頃思うこと その3	副会長	野間 一男	P.1
◇支部の活動報告			
◆東葛支部	支部長	森 健一	P.3
◆北総葛南支部	支部長	野間 一男	P.4
◆総武支部	支部長	小出 進一	P.5
◇お知らせ			

◇近頃思うこと その3◇

副会長 野間 一男

「平成」も残り約1年となった今、「平成」とはどういう時代であったのだろうかと回顧してみると、日本では「バブルの崩壊」から始まり、平成7年の「阪神淡路大震災」、「地下鉄サリン事件」、平成10年の「長野オリンピック」、平成21年の「民主党政権発足」、平成23年の「東日本大震災（3.11）」、平成24年の「東京スカイツリー開業」、平成28年の「熊本大地震」を経て、現在の混迷した社会状況に至っています。その間、国の借金は1000兆円を超え、次世代に多くのつけを回そうとしています。

朝日新聞の平成30年4月30日付けの記事～全国世論調査「平成 どんな時代か」によりますと、最多は「動揺した時代」、一番印象に残る世の中の出来事では「阪神淡路大震災や東日本大震災、熊本大地震等の自然災害」が、突出した結果になっていたようです。

世界に目を向けてみますと、平成2年の「東西ドイツ統一」、平成2年の「ソ連解体」、平成5年の「EU発足」、平成13年の「アメリカ同時多発テロ（9.11）」、平成20年の「リーマンショック」、平成21年の「黒人初のアメリカ大統領の誕生」を経て、昨年の「トランプ大統領就任」から、近々の「南北首脳会議」に至るまで多様な出来事があり、その間にも世界各地の紛争はとどまることなく続いている時代であるといえます。この間、GDPでは中国が日本を抜き去り、世界第2の大国となったと標榜しております。この時代の中で、世界の中での日本はひたすら内に閉じこもって、内憂の大きさに手を拱いていた時代でもあります。外交と言えはひたすらアメリカ追従で、沖縄などはほとんど植民地状態のまま置かれている状況です。独立国家の態をなしていないと思えるような情けない状態です。

また、「平成」といえば、平成12年に「マンション管理適正化法」が成立し、「マンション管理士」の資格も定められ、その後、我々「マンション管理士」が活躍できる時代となったわけですが、資格者

の数の割に活躍しているマンション管理士の数が少なく、反面、管理不全マンションの増加という時代の趨勢もあります。こういう状況を背景にマンションの第3者管理の当事者である、第3者を業務目的とした、「認定管理士制度」が日管連により、制定され、本年7月に認定管理士が誕生する予定にもなっております。

ところが我々日管連傘下の管理士会の管理士は、管理士登録者の中の1割程度に過ぎず、残りの9割弱の管理士の動向はどうなっているのでしょうか？日管連傘下の管理士会の管理士であれば賠償保険にも加入できますし、前述の「認定管理士」になれば、万が一の補償制度もあります。日管連に加入していない管理士の活躍状況を知りたいところでありまして、日管連がそういう管理士をどのように組織化するかの考えも聞いてみたいところです。

ところで、過ぎる4月上旬に、映画「ペンタゴン・ペーパーズ」を鑑賞しました。この映画は1960年～75年にかけての「ベトナム戦争」の時代、歴代の大統領が国防省（ペンタゴン）の文書を改竄し、ベトナム戦争という大義なき戦争に若者たちを狩り出し、多大な犠牲を払った状況が、国防省内のある告発者による機密文書の暴露により明らかになり、時の大統領を追い詰め、「ウォーターゲート事件」でとどめを刺す結果にもなった物語です。主人公は、首都の新聞社の社長であり、機密文書の発表に至るまで、政府の圧力に屈せず、最終的にはアメリカ各地の新聞社が、同時的に、政府のウソを暴いて見せるという、快挙に至ったわけです。

この映画を見ますと、アメリカには、告発者という良心が、また、ジャーナリストの健全な精神が息づいていると感じさせられます。

ひるがえって、現在の日本の政治状況を観察してみましょう。「森友学園」「加計学園」等々、政治家と官僚および政治家に近い事業家のずぶずぶの関係が「忖度」という表現以上の事実として示されているのに、事実が究明されない悲しい状況にあります。それでもここまでの問題となったのは、やはり、ジャーナリストの地道な調査による結果に基づく告発となった面が大きいと思われます。

悲しいかな、官僚からの告発者が出ないのは、日本人独自の「連帯責任」「仲間意識」等々によるものかなとも思います。

「防衛省日報問題」「財務省次官によるセクハラ」も同様な日本の社会状況、政治状況に根差しているものと考えられます。

これらの問題から、日本に「民主主義」は根付いているのかを考えさせられます。「民主主義」の特徴は「多数決主義」また、それに対して「少数意見の尊重」というものがありますが、後者の「少数意見の尊重」はわが社会において、非常に軽視されていると考えるのは私だけでしょうか。前述の政治状況に関しても「数の力」で、多数与党が少数野党を押しつぶそうとしているのは見え見えです。

我々の相談会においても管理組合の中での貴重な少数意見は我々が感じる「正論」であっても、ただ、「うるさい人がまた勝手なことを言っている」としか見做されずに、圧殺され、どうすればよいかとの相談を受ける場合が往々にしてあります。

不支持率が支持率を上回っている内閣が存在できるのも、「数の力」です。

ところがこういう状況を作り出したのは「この国民にしてこの政府」（英国の警句）なのです。主権者である国民の投票の結果なのです。残念ながら、こういう政府そのものが国民の民度を表しているのです。今の政治状況を嘆くなら、この状況を作り出したのは多数の国民のうち一人である自分だという自覚を持つ必要があります。ところが、現行の小選挙区制度では地域のボスが非常に有利になる制度

で、このままでは状況が大きく変わらないでしょう。

そこで、今の選挙制度をこういう風に変えたら、投票率も上がり、より良い制度になるのではないかと思うところがあります。具体的には、「選びたい人」、「選びたくない人」を投票人1人に各1票ずつ投票可能とし、投票用紙には各候補者の名前を記載し、選びたい人には○を、選びたくない人には×を記入し、○ー×の数の多い人が当選する。○ー×がマイナスの人は論外で選外となる。○しか投票しない人はそれだけでもよし、×しか投票しない人はそれだけでもよしとする。結果、○が多い人でも×が多ければ当選できない。また、すべての候補者がマイナスの場合は、戦況をやり直さず、その選挙区には当選者がいない状況のままとすると、小選挙区制に対する問題点も浮かび上がってくるのではないかと。

そうすれば選びたい人がいないから投票しないという人も投票へ行く可能性が高まり、逆の人も投票へ行く可能性が高くなる。結果的に選挙への関心が高まり、投票率も高くなるのではないかと考えられる。これは国政選挙だけでなく、首長選挙や、地方議会の選挙にも応用すると非常におもしろい結果を生むのではないかと期待しています。ポピュリズムと思われるようですが「出たい人より、出したい人を」の標語の実現が期待できると自賛している、勝手な妄想です。

ここまで書きなぐってきて考えてみると、果たして、自分は立派な定見を持っているのかな？好き勝手を言ってるだけで行動しないじゃ無いか。こんなことを考え、いろいろグダグダ言っていたら、「ほんなら、国会議事堂前でもどこでも行ってデモでもやればいいやないの。そんなのも出来へんくせにつまらんこと言うな、気が滅入るわ」と家人にここだけは関西弁で怒られました。いやはや・・・。

◇支部の活動報告◇

◆東葛支部

支部長 森 健一

(野田市、流山市、柏市、我孫子市、松戸市、浦安市、及び近隣地区)

■支部例会報告

- ・3月16日(金) 18:30~20:30 パレット柏 出席会員17名
 - ・各市セミナー・相談会の講師、テーマと出席者の確認をしました。
 - ・理事会報告を行いました。
 - ・法務研究会で論議した2件の判例を題材に勉強会を行いました。
- ・4月20日(金) 18:30~20:30 パレット柏 出席会員19名
 - ・各市セミナー・相談会の講師、テーマと出席者の確認をしました。
 - ・浦安市のアドバイザー派遣名簿の登録者を決めました。
 - ・理事会報告を行いました。
 - ・各市相談会の相談事例や高齢者を支援する成年後見制度についての勉強会を行いました。

■行事活動報告(セミナー・相談会)

- ・4月 4日(水) 松戸市相談会
- ・4月28日(土) 我孫子市相談会
- ・5月 2日(水) 松戸市相談会

■今後の活動予定（セミナー・相談会）

- ・6月 6日（水） 松戸市相談会
- ・6月16日（土） 柏市相談会
- ・6月24日（日） 松戸市セミナー相談会
- ・6月24日（日） 我孫子市セミナー相談会

◆北総葛南支部

支部長 野間 一男

（船橋市、市川市、八千代市、佐倉市、成田市、印西市、白井市、鎌ヶ谷市及び近隣地区）

■行事報告

○支部例会

3月例会を20日（火）18:00より船橋中央公民館で開催しました。出席は、20名。理事会、日管連の報告及び来年度のセミナーの日程・内容の計画確認を行いました。また、相談事例に基づき意見交換を行いました。4月例会を22日（日）15:00より船橋中央公民館で実施しました。出席は17名。理事会、日管連の報告及び昨年度のセミナーや派遣事業、適正化診断の報告を行い、来年度の活動計画、派遣名簿登録、専門分野マップ登録等の打ち合わせを行いました。

○平成29年度セミナー・相談会、派遣事業、適正化診断等結果報告

①派遣事業・無料相談会

船橋市無料相談会（3月4日）：1件実施（4月1日）：2件実施 昨年度計27件
印西市派遣事業：計7件
白井市派遣事業：計2件
市川市派遣事業：3月申込あり 計10件
船橋市派遣事業：3月申込あり 計2件

②適正化診断 計15件

③セミナー・相談会：年14回開催（内訳：印西市4回、船橋市3回（県基礎講座含む）、市川市2回（県基礎講座含む）、鎌ヶ谷、佐倉、八千代、成田、白井各1回）

○新入会員説明会

2月18日（日）、3月15日（木）計2回開催 新入会員3名決定

○平成30年度セミナー・相談会、派遣事業、適正化診断等結果報告（5月10日まで）

- ①船橋無料相談会：4月1日開催、相談件数2件
- ②派遣事業：市川市2件、白井市1件
- ③適正化診断：6件

■行事予定

○支部例会

5月例会

日時：平成30年5月23日（水）18:00～

会場：船橋中央公民館 第8集会室

6月例会

日時：平成30年6月27日（水）18:00～

会場：船橋中央公民館 第2集会室

○セミナー・相談会・交流会：今年度は前年度と同回数開催予定

- ・鎌ヶ谷市セミナー・相談会：6月17日（日）
- ・印西市セミナー・交流会：6月30日（土）
- ・佐倉市セミナー・相談会：7月7日（土）

○船橋市無料相談会 船橋Face5Fにて13時～

- ・平成30年6月3日（日）
- ・平成30年7月1日（日）

◆総武支部

支部長 小出 進一

（千葉市、四街道市、習志野市、市原市、木更津市、東金市、勝浦市及び近隣地区）

■支部例会報告

3月16日（金） 18:30～19:50 出席者14名、 於：千葉市新宿公民館

総武支部行事の活動状況や理事会での討議事項等について支部会員への報告を行った。この他、今後の支部行事（セミナー）の準備状況確認や新年度の活動計画、支部の役割分担（支部長交代等）について話し合った。その後、㈱住宅あんしん保証の濱田裕也氏を招き、大規模修繕工事瑕疵保険について説明を受けた。例会終了後は12名で懇親会を実施した。

■行事活動報告

1. 3月17日（土）13:00～14:00 新会員説明会 於：CMA事務所

申込者がなく中止した。

2. 3月24日（土）10:00～12:00 千葉市稲毛区相談会 於：稲毛保険福祉センター

長期滞納問題、漏水・騒音での上下階トラブル、理事会運営（理事長の独断的な運営）、総会運営（臨時総会の開催などが規約違反かどうか）の4件の相談に対応した。CMAからは5名が出席した。

■今後の活動予定

1. 5月18日（金） 18:00～20:00 支部例会

2. 5月26日（土） 13:00～16:00 千葉市中央区セミナー・相談会

3. 6月17日（日） 13:30～16:30 千葉市第21回新任役員研修会

◇◇ お知らせ ◇◇

■入退会

会員数：120名（平成30年5月17日現在）

■総会日程

6月 23日（土） 船橋グランドホテル 14:00～

■理事会日程

1. 次回理事会： 6月 21日（木） 15:00～ 船橋中央公民館

2. 次々回理事会： 7月 19日（木） 15:00～ 船橋中央公民館

※総会議事録、理事会議事録はホームページに掲載しています。

URL：<http://www.chiba-mankan.jp/> 「会員専用ページ」→「理事会・部会等報告」